

新生 前後町政始動

猪苗代町長選挙と猪苗代町議会議員補欠選挙は6月26日、町内20カ所の投票所で一斉に投票が実施された。

町長選では前後公氏が初当選、町議補選では新人の金本久美子氏と長澤操氏がいずれも初当選した。

津金要雄町長の後を受け、猪苗代号のかじを取る前後町政が今、船出の時を迎えた。

町長選投票率は72・50%

4期16年を務め、任期満了となった津金要雄町長の不出馬により、新人同士の一騎打ちとなった町長選は、活力と希望あふれるまちづくりを訴える前後氏が前町議の新人渡部英一氏(59)に824票差をつけて勝利した。

町議選は、佐瀬真氏(57)に無所属、佐藤悦夫氏(59)に無所属、金本久美子氏(63)に無所属、長澤操氏(61)に無所属の4人の新人が立候補。ともに2000票以上を獲得した金本氏と長澤氏が初当選した。

当日の有権者数は、1万3133人(男6198人 女6935人)。町長選の投票者数は9521人(男4477人、

女5044人)。有効投票数は9308票。投票率は72・50%(男72・23%、女72・73%)だった。

活力と希望あふれる町に

翌27日には、当選した前後公町長、金本久美子町議会議員と長澤操町議会議員に町選挙管理委員会の野口輝也委員長から当選証書が付与された。

町役場前で大勢の支持者や町職員に迎えられ初登庁した前後町長は、その後就任式に臨み、「重要課題が山積しているが、活力と希望あふれるまちづくりのため、職員の皆さんとともに全身全霊を傾けたい」とあいさつ。職員を代表して土屋重憲教育長が歓迎の言葉を述べた。

一問一答

前後公町長に、新しいまちづくりへの決意と抱負を聞く

——前後町政の最重要課題は
町民総参加の開かれた町政の実現と健全で分かりやすい行財政基盤の確立。これがすべての基本になると考えている。

あらゆる世代の町民から、男女の別なく意見を聞き、町政に反映させていきたい。すべての町民が幸せだと感じられるサービスを継続して提供していくため、健全で強固な財政基盤づくりに取り組んでいく。

——東日本大震災やその後の風評被害などに対する今後の取り組みや対策は

風評被害については、首都圏などでの先行型PRなどに対応していく。観光客の減少、農作物の売上不振や低価格化には、イベントを通して安心・安全をPRし、回復を図りたい。

ドクターヘリなどを利用した、会津若松市や郡山市の病院との広域連携による救援体制の確立は、災害対策と安心して暮らせるまちづくりを兼ねたものとして期待できる。

——「活力と希望あふれる町」を作るための重点施策は

多機能型道の駅の設置を進めていく。これまでの道の駅になかった高規格機能(ドクターヘリの常設基地や磐梯山ハザード対策基地としての整備)を備えた

施設作りは、観光面の価値だけではなく、町民の安全を守るすべての災害対策にもつながるものと考えている。

町の振興のためには、安定した雇用・就労の場を確保することも欠かせない。企業の海外進出が進む中で、地方への企業誘致は大変難しくなっているが、若者の定住促進や少子化対策など、多岐にわたる問題なので最大限の努力をしていく。

国際社会に通用する人材育成のため、猪苗代高校の教育の充実を図る。国際観光科のカリキュラム充実とスポーツ科の新設で、全国から生徒を受け入れ、スポーツ振興の町を目指したい。

——新しいまちづくりへの抱負は

ますます進む少子高齢化対策として、幼児教育や福祉体制の充実が急務の課題だ。寝たきりを防ぐための介護予防サービスや在宅介護者などに対する新しい助成制度を創設することを検討している。在宅介護など重い負担を抱える高齢者世帯や一人暮らし世帯が孤立してしまうことのない地域社会ときめ細やかな福祉サービスを提供できるまちづくりを進めていく。

これらの施策を必ずやり遂げるという強い信念を持って町政の執行にあたることを約束する。

初当選を果たした2議員を紹介

長澤 操 議員

Nagasawa Misao

Profile

1950年秋田県仙北郡生まれ。
科学技術学園工業高校卒。
座右の銘は「乾坤一擲」



本町は現在、東日本大震災や福島第一原発の事故などの影響により、非常に厳しい情勢をえている。この状況を打破する知恵を出し合い、町、議会と町民が一体となって取り組んでいくことが必要だ。

旧態依然とした体制に風穴を開けて、新しい発想を取り入れていけるように頑張りたい。

金本久美子 議員

Kanemoto Kumiko

Profile

1948年猪苗代町明円生まれ。
立正大学史学科卒。
好きな言葉は「思いやり」



今後ますます少子高齢化が進んでゆく中で、今、この町に住んでいる人が幸せだと思える町を作ることが重要だ。災害下にある現在、風評被害などに対しては、今後を見据えた大胆な施策が求められていると思う。

猪苗代町のために、お年寄りや女性など弱者と言われる人たちの意見を代弁していきたい。

前後公町長

Profile

1941年猪苗代町生まれ。日本大学東北工業高校(現日本大学東北高校)卒。61年町職員に。商工観光課長、国体準備室長、水道課長、住民課長、議会事務局長、公民館長、生涯学習課長などを歴任。妻寿子さんと2人暮らし。翁島駅前在住、69歳。好きな言葉は「和」

